▼タイトル▼

仮定法　入門

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I ［　　　］ a lot of money, I would buy a house in Kyoto.  
  
（大阪経済大）

▼選択肢▼

① have

T② had

③ have had

④ has

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「もし大金を持っていたら、京都に家を買うのに。」  
**仮定法過去**「もし～なら、…するだろう（に）」は、**現実に反する仮定**や**実現しそうにない仮定**を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋動詞の原形〉で表すのがポイント。  
If S did～, S’ would[could / might / should] do... .

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I had enough time, I ［　　　］ the idea in detail.  
  
（札幌大）

▼選択肢▼

① explain

② have explained

③ will explain

T④ would explain

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「もし十分な時間があれば、その考えをくわしく説明するのに。」  
**仮定法過去**「もし～なら、…するだろう（に）」は、**現在の現実に反する仮定**や**これからも実現しそうにない仮定**を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋動詞の原形〉で表すのがポイント。  
If S did～, S’ would[could / might / should] do... .  
なお、if節でbe動詞を使うときは、主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使う。  
If I were a cat, I could sleep all day.（もしぼくが猫なら、１日じゅう寝てられるのに。）  
in detail「くわしく／詳細に」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I wish I ［　　　］ English better.  
  
（東京経済大）

▼選択肢▼

① speak

② will speak

T③ spoke

④ should speak

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「もっと上手に英語を話せればいいのに。」  
**現在の現実に反する願望**を表すときは〈S wish (that)＋仮定法過去〉で表す。仮定法過去を使うので、S wish (that) のあとの動詞は過去形にするのがポイント。この表現では、thatはよく省略される。  
S wish (that) S’ did～「（今）S’が～すれば〔なら〕いいのに（とSは思う）」  
なお、S wish (that) のあとにbe動詞を使うときは、主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使う。  
I wish I were a little taller.（もうちょっと背が高かったらなあ。）

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I ［　　　］ my car on that day, I would’ve offered you a ride.  
  
（南山大）

▼選択肢▼

① have

② has

③ have had

T④ had had

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「もしあの日に車があったら、乗っていかないかと声をかけていたのに。」  
**仮定法過去完了**「もし～だったら、…しただろう（に）」は、**過去の現実に反する仮定**を表すときに使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋完了形〉で表すのがポイント。  
If S had done～, S’ would[could / might / should] have done... .  
offer A B「AにBを勧める〔申し出る〕」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I ［　　　］ you, I wouldn’t go out with such a person.  
  
（日本大）

▼選択肢▼

① am

② are

T③ were

④ will be

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「もし私があなたなら、そんな人とデートなんかしないわ。」  
**現在の現実に反する仮定**や**これからも実現しそうにない仮定**を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋動詞の原形〉で表すのがポイント。  
If S did～, S’ would[could / might / should] do... .  
本問のように、if節でbe動詞を使うときは、主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使う。  
If Paul were here now, I would speak to him.（もしポールが今ここにいたら、彼に話をするのに。）  
なお、本問は、主節にnotがついて否定文「〜しないだろう（に）」となっている。